

2011年度第1回評議員会報告（電子評議員会）

開催日時：2011年4月25日～5月13日（回答期間）

回答：27/30名（成立要件=評議員数の1/2以上）

議案1：外国在住の非会員の、欧文誌への自由投稿を可能とするかについて（現在は、会員外の投稿を認めていない）

審議結果：否決。ただし、条件付きの投稿については、今後さらに検討するという方向で継続審議扱いとしました。

議案2：会誌掲載の広告料について（会計幹事案を提示して検討）

審議結果：可決承認。

議案3：会誌バックナンバーの販売価格について（会計幹事案を提示して検討）

審議結果：可決承認。

議案4：バックナンバーの活用・処分に関する意見（評議員の意見聴取）

審議結果：バックナンバーの電子化（PDF化）、配布による処分などの多数の貴重な意見があり、今後具体的に検討します。

議案5：東日本大震災被災地の会員に対する支援

審議結果：支援に関しては可決されましたが、具体的な支援方法については継続審議中です。事務局で支援案を作成し、2011年7月30日の総会でご審議いただく予定です。

なお議案2 および議案3 の、具体的な価格等の詳細については、学会ホームページ上で別途報告します。
(庶務幹事 奥田好秀)

第2回大阪春季例会報告

日時：2011年3月26日（土）10時～16時45分。場所：大阪市立自然史博物館。参加者は25名。寒波襲来の厳しい日和、長居公園のアーモンドと早咲きの桜の花が満開であった。

午前中は自由懇談会と同定会。10数名の方が標本を持参し、情報交換されていた。11時から大阪例会運営幹事会。メンバーは従前の運営幹事・評議員で、今後の運営について話し合い、例会を円滑にやっていくために次回の例会からお茶代・資料代として参加費200円を出席者からいただくことになった。

午後1時から会務報告会。①東京例会での運営幹事会、会誌の発行状況などの報告（林靖彦評議員）。②旧甲虫学会の最後の会計報告（野村英世評議員）。③例会日程と案内は「さやばね」と甲虫学会ホームページを見ていただきたいと重ねてお願いした。

午後1時45分から「一人一話」大会。パワーポイントを準備された方は3名。塚本珪一氏の平安京遺跡の昆虫遺物のスライド、初宿成彦氏のマキムシモドキ科 *Laricobius* の1新種の紹介、新里達也氏の *Necydalis lateralis* 再発見のいきさつ。その他の方々は口頭で話題提供された。標本は博物館へ早めに自分で寄贈するのがベストと水野弘造氏が持論を述べられた。各地に談話会レベルのアマチュアが多くいるので、その人たちも会員になれるような学会にしてほしいと山下俊一氏が要望された。その他にも興味深い話が続き、時間は尽きなかった。

懇親会は5時半から阿倍野のアサヒビアケラーで、参加者は16名。おいしいビールと料理を賞味し、自由に歓談した。お開き直前に水野氏から「一人一話」の補足説明。「地域甲虫自然誌」発想の始まり、アマチュアと分類専門家の連携が重要なこと、虫屋は身近な地域の甲虫相を明らかにしていくことなど持説を展開された。正確な同定のために新しい甲虫図鑑を作してほしいと植田謙一氏が提案され、真面目な議論となった。さらに有志の方は二次会で色々とお話談義を続けて、楽しい一日を過ごされた。

(大阪例会運営幹事 安井通宏)